

## 共創

### 「水橋橋まつり」に想う

夏のスタートは暑かった。梅雨の晴れ間の7月11日。フェーン現象となった県内はぐんぐん気温が上昇し、37.3度と全国1位の暑さとなった。37度など体温なら微熱であり、体の変調を覚える頃だ。2007年以降、気象庁は日最高気温が35度以上の日を「猛暑日」と制定した。「ただけしく暑い」とは言いえて妙ではあるが、日常生活の中で暑さが人命を奪う事態など、ひと昔前なら想像もできなかったことだ。

とはいうものの、避暑地で仕事を続けたり、バカンスに行ったきりだったり、24時間空調の効いた場所から一步も外へ出なかつたりする人は少なく、たいがいは夏と折り合いをつけながら過ごす。キャンプ、海水浴、野外フェスティバルなど健康なアウトドア。アイスやかき氷、値の張る川床料理で夏グルメを堪能。お化け屋敷で肝を冷やし、蛸狩りや盆踊り、花火、夏祭りなどで和を感じ、まあ夏もいいな、と納得する。

当社は富山市水橋にあり、富山市の北東で滑川市に隣接している。当地域には、毎年7月第四土曜日に開かれる「水橋橋まつり」がある。約3千発の花火が夜空を飾り、御神灯流しが川面を照らす。県内外から見物客も大勢訪れるたいそう大きな祭りだ。

「橋まつり」は、始まりが明治2年にさかのぼり、百五十年近い伝統をもつ祭礼である。

清少納言が綴った枕草子に「わたりは しかすがのわたり。こりずまのわたり。水はしのわたり」とあるように、水橋は日本海に注ぐ水橋川（現在の白岩川）の河口にあり、古くから港町として栄え、交通の要所として知られていたようだ。

水橋町の中央部には水橋川が流れており町を東西に分けていた。人々は川のさまざまな恩恵を受けていたが、暮らしには川の両岸をつなぐ橋が望まれる。明治の初め、水橋川立山橋（現在の白岩川東西橋）が竣工した。橋の長さ約250m、幅約5mの大橋であり、常願寺川流域の神社境内から千本以上の神木が無償供出されたという。加賀藩所有の山林から材木を調達するはずだったが、材木を運搬できないため、やむを得ず神木を使うことになったのだ。橋の架設後、人々は神木を伐採したことを神慮にお詫びし、余った材木で水神社を建立し感謝を捧げた。これが「橋まつり」の由来である。

この心を理解し厳かに拝礼するのは古くからの住民の他には少ないかもしれないが、「橋まつり」が続く限り、神仏への畏敬、祖先への感謝は連綿と受け継がれ、由来を知らない人たちにも賑わいや弾む心を与え続けるのだろう。

ふる里にいくつもの祭りがある。日本は幸せな国である。

編集委員 柴野 恒夫

#### 《編集委員会》

編集委員長 門前 昌志 (阪神化成工業株)  
編集委員 喜多 進 (株大樹)  
〃 西村 源信 (三光合成株)  
〃 柴野 恒夫 (株リッチェル)  
〃 林 延幸 (株タカギセイコー)

#### 編集後記

私、平生の不養生がたたり3週間あまり休ませて頂きました。その間、関係者の方々にはたいへんご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。8月1日から復帰しており、改めてよろしくお願いたします。

さて、会報の発行につきましても、8月発行予定が1ヶ月遅れの9月になりましたが、この「とやま県プラ」が会員企業の交流や、当工業会のPRとして少しでも役立つことが出来ればと思っております。引き続き、ご支援の程よろしくお願い致します。

事務局長 福島 (記)

## とやま県プラ

### 富山県プラスチック工業会

(富山技術交流センター内)  
〒930-0866 富山市高田529番地  
TEL(076)442-0309 FAX(076)442-0310  
URL <http://www.kenpla.jp> E-mail [info@kenpla.jp](mailto:info@kenpla.jp)

表紙写真提供 青海 正和氏

# とやま県プラ

## CONTENTS

- 2 会長メッセージ
- 3 通常総会
- 4 元会長 渡辺信安氏を偲んで
- 5 トップインタビュー
- 7 シリーズ海外経済・世情
- 9 総務委員会レポート
- 11 技術委員会レポート
- 12 研修講習事業報告
- 13 会員広場
- 14 会員企業による景況調査
- 16 プラスチック関連データ
- 18 共創

富山県プラスチック工業会

2017.9 No.40

～岐阜県関市の「モネの池」～

## 災害への備えを!

富山県プラスチック工業会  
会長

高田 順一



盛夏の候を迎えていますが皆様には益々ご清祥のこととお慶びを申し上げます。

日頃は富山県プラスチック工業会に対しまして格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。6月1日開催されました総会におきまして私が会長に再選されました。同時に再選されました副会長の皆様、役員の皆様と共に工業会の運営に当たって参りますので、変わらぬ御支援、ご指導を賜りますようお願いを申し上げます。

7月上旬九州北部と中国地方で記録的な降雨による洪水、土砂災害が発生しました。停滞する梅雨前線に向かって南からの暖かく湿った空気が次々と運ばれた結果、7月一か月の平均雨量を大きく上回る降水量となりました。毎年このような集中降雨による災害が日本のどこかで発生しています。北陸地方も2004年福井県で九頭竜川をはじめとする河川が氾濫し多くの被害をもたらしました。富山県もかつては治水に苦しみ、常願寺川の立山砂防は国の直轄事業として今でも継続しています。明治政府に招かれたオランダ人技師ヨハネス・デ・レーケは「富山県の70有余の河川はきわめて暴流にして山から海までの距離が短く、川というよりもむしろ滝と称するが適当」と言ったと伝えられています。近年多発する「何十年に一度」といった雨量がもたらす被害は他県の比ではないと思います。想定外の被害ということのないよう、備えを怠らないようにしたいと思います。

株式会社リッチェル名誉会長渡辺信安様が、5月1日92歳にてお亡くなりになりました。

渡辺様は昭和37年から6年間当工業会の理事

として、昭和43年から15年間は副会長として、そして昭和58年から平成16年までの22年間の長きにわたり会長として工業会発展のため多大なご貢献を賜りました。渡辺様のご功績に対し心より感謝を申し上げますとともにご冥福をお祈り申し上げます。渡辺様は富山県のゴルフ界のリーダーであり、長年にわたりトッププレーヤとして活躍されました。昭和48年第一回北陸クラシックが呉羽CCで開催され、アマの部で優勝されたのが渡辺様でした。私はその年の春呉羽CCに入会しており、以来呉羽CC会員としてまた一時期ですが選手団の一員として指導をいただきました。おかげでゴルフを生涯の友としております。改めて渡辺キャプテンに感謝を申し上げます。

7月13日呉羽ハイツに於いて総務委員会事業として「経営セミナー」を開催いたしました。今回は株式会社トヨックス製造部生産技術部顧問 森岡政幸氏と株式会社タカギセイコー代表取締役社長 八十島清吉氏に講師をお願いしました。講師のお二人には大変お忙しいにもかかわらず周到に講演資料を準備していただき、なおかつ力のこもったお話をしていただきました。当日は連日の猛暑日になりましたが多くの参加者が熱心に受講されました。大変すばらしい講演でこれからの経営に資する多くの言葉が届いてきました。講師のお二人に心から御礼を申し上げます。

皆様にはこれからも工業会の行事、事業に積極的に参加いただきますようお願いを申し上げます、私の挨拶といたします。

## 平成29年度 第56回 通常総会開催

### ◇ 総会

平成29年度通常総会が6月1日(木)午後3時から富山第一ホテルにて開催された。はじめに高田会長より開会の挨拶があり、議長に高田会長を選出して議案審議に入った。

- 議案は 第1号議案 平成28年度事業報告の件  
第2号議案 平成28年度収支決算報告・監査報告の件  
第3号議案 平成29年度事業計画(案)の件  
第4号議案 平成29年収支予算(案)の件  
第5号議案 役員改選(案)の件  
報告事項

を諮った結果、原案どおり可決承認され、総会審議を終了した。

当工業会にとって「人手不足や原材料の高騰」は課題だが、積極的に活動を展開して会員企業の成長に繋げていく。また、「富山県ものづくり総合見本市2017」に出展する会員企業を支援していくこととした。



総会：会長挨拶

### ◇ 記念講演

本年度の総会記念講演には、大阪教育大学教育学部准教授 小崎恭弘様が「新しい時代の新しい働き方～イクメン・イクボスはなぜ必要か～」と題してご講演されました。

社会が大きく変化する中、現状の男性、父親を取り巻く環境(男性片働、長時間労働、会社中心主義)から、「新しい働き方、生き方」が求められている事について熱く語られた。



講演

### ◇ 懇親会

引き続き懇親会が開催され、高田会長の開会挨拶にはじまり、富山県商工労働部 大坪部長の乾杯のご発声のあと、和やかに歓談に移りました。今回より着席となり「30・10運動」に合わせてゆっくりと食事を楽しんで頂きました。各円卓で賑々しく相互に親睦を深め合う中、延澤副会長が中締めをしてお開きとなりました。



懇親会



株式会社リッチェル渡辺信安名誉会長が本年5月1日午前0時15分に逝去した。悪性リンパ腫を患い2年間の闘病の後だった。享年92歳。ゴルフの腕前はプロを凌ぎ、輝かしい戦績は伝説になっているが、その他にも短歌、旅行、カメラなど多方面に造詣が深く80歳を過ぎてなお壮健で精力的な方であった。特に88歳の米寿のゴルフコンペでのプレー振りは元気ではつらつとしており、若かりし頃を彷彿した。病床にありながらも、桃の節句の頃には小康状態となり食も進んでいるという嬉しい知らせに安堵していた矢先の訃報であった。

渡辺氏は終戦後の貧しさが残る時代に、未知のプラスチック事業に夢を託し、「お客様に良い商品を提供したい」という一途な想いでアイデアを絞りデザインを生み出してきたという。その信念は同社の「良い商品をつくらう」という企業理念として存続している。

同社は昨年11月に創業60周年を迎えたが、同時に渡辺氏の事業の足跡でもある。昭和31年11月、義父渡辺隆吉氏とともに富山市南田町にシルバー樹脂工業所を創業した。昭和35年7月にはシルバー樹脂工業株式会社を設立し専務取締役に就任、以来昭和43年代表取締役社長、平成15年現株リッチェル（平成3年に社名変更）代表取締役会長、平成17年名誉会長に就任した。

昭和の頃には30年と言われた企業寿命はどんどん短くなり、今や10年を切る勢らしい。また50周年を迎える企業は総数の1%に満たず、事業の持続と成長がいかに困難であるかがわかる。

プラスチック業界を震撼した「オイルショック」や「ホルマリン、環境ホルモン問題」等、幾度も存続の危機に陥りながらも同社が今日あるのは、渡辺氏が旗頭となり社員一丸となって難局を乗り越えてきたおかげであろう。まさに自身の座右の銘「上に立つ人間は、やって見せて、言ってみせて、やらせてみて、褒めてやらねば人は動かぬ」を率先躬行した人であった。

渡辺氏は、昭和58年から平成16年まで富山県プラスチック工業会の会長を務め富山のプラスチック業界の発展に寄与した（昭和43年から60年まで富山プラスチック協会の会長を務めている）。その功績が認められ、昭和60年に富山県功労表彰、平成5年に藍綬褒章、平成10年に勲五等瑞宝章を受賞、その他にも富山県・市ならびに業界の栄えある賞を多々受賞している。渡辺氏は彼岸から、当工業会が激動の時代に耐えて持続的に成長し、業界全体が興隆する姿を信じ見守っていることだろう。そのためには各々が自己研鑽し切磋琢磨し、業界としての絆と和を大切にしていかなければならない。

在りし日の姿を偲びつつ、心から冥福を祈る。



平成6年 富山県プラスチック工業会記念式典  
(前列左から5人目)


  
**高陵プラスチック工業株式会社**
  
 〒933-0824 高岡市西藤平蔵字内川原1312
   
 TEL(0766)63-5656(代)
   
 FAX(0766)63-5658

**SAITO**
  
 Plastics Molding / Package & Parts
   
**株式会社 齊藤製作所**
  
 富山県富山市下大久保61 〒939-2251
   
 ☎(076)468-2727 FAX(076)468-3911

## 今までもこれからも “活力ある産業づくりのお手伝い”を

株式会社金森産業  
代表取締役会長 **金森米男氏**



【インタビュアー：会報編集委員長  
阪神化成工業(株) 門前 昌志氏】

### 1. 創業の経緯と社業・社歴についてお聞かせください。

創業は明治3年、高岡市源平町に初代金森伊平が創業しました。当時からお客様はすべて製造業であり、これまで一貫して工業材料を扱っております。

明治初期、今の砺波・南砺エリアの福野、福光、城端は特に繊維産業が盛んであり、繊維製品に付加価値をつける染料の材料を扱うのが始まりです。

明治時代から県外にも商いに出ており、大正時代には大阪と新潟県三条市に出張所を設けるまでになりました。その後も、いろいろと事業を広げましたが、昭和の大恐慌で事業を縮小し本業に集中することになりました。

創業当時社員は住み込みで働いており、第二次世界大戦中には会社から戦地へ向かい、戦後は戦地から会社に戻ってくるなど、そういう社員皆さんのお陰もあって、現在は147名の会社として続けられています。

取扱商品は、明治時代にドイツで合成染料が開発され、戦後、国内の化学会社でも同様な合成染料やいろいろな化学製品が作られる様になり、これまで染料を取扱っていた当社も、幅広く化学製品を扱うようになりました。現在、売上げの半分は合成樹脂です。残りが工業用の薬品、塗料、染料になります。

### 2. これまでの印象に残る事業についてお聞かせください。

金森産業とは別にまったく新しい形態の事業があります。それは「公害」に対応する取り組みです。

昭和30年代から「公害病」が社会問題になり、昭和42年に「公害対策基本法」が制定され、廃材をきれいにする技術が必要となりました。そこでお客様への対応として、当社が販売した材料の廃材も含めて処理する設備の紹介や、その為の新しい薬品の供給を行うようになりました。

当時、設備関係については、名古屋のメーカーと取引をしていましたが、オイルショックの影響で倒産してしまいました。お客様への対応を継続するため、昭和54年に新たにエンジニアリング会社「カナモリ技販」を設立してスタートさせました。

同時に、環境基準が設けられるようになり、各企業が排出している廃材等が基準を満たしているか、第三者機関を通じて調べる必要が出てきました。当社は、第三者機関としての環境測定設備や環境計量師（資格者）等の条件が揃っており、分析センターとして環境測定事業にも進出しました。



昨年、環境測定の専門会社「(株)安全性研究センター」を子会社とし、県内の西部方面をカナモリ技研・分析センター、東部方面を(株)安全性研究センターと県内全体に対応できるようになりました。

### 3. 数々の人材育成について取り組みをされていますが、その動機やお考えについてお聞かせください。

人材育成については、海外進出やグローバルな人材育成を目的に、新たに英語能力試験「TOEIC」で報奨金制度を導入し、社員のスキルアップを応援しております。900点以上を取得すれば100万円、800点以上であれば30万円の一時金を支給します。これまでの最高としては、800点以上が1名おります。

もう一つは、総合職の新入社員（男女関係無く）を、毎年8、9月にフィリピン・セブ島での語学学校に2週間派遣しております。世界各国からの留学生の集まる語学学校での英語の勉強はもちろん、早い時期から各国の留学生と交流をもつことで、国際的な社会人としての自覚を持ってほしいとの思いから、取り組んでおります。

### 4. 「一般社団法人 金森財団」の設立の理由と、今後に期待されることについてお聞かせください。

金森財団は、創業145年を経たのを機に昨年の4月に設立しました。昨年は、第1回目として応募23件から5件に、当本社にて助成金（1件100万円）の授与式を行いました。

## 北陸(日本)・韓国経済交流会議について

北陸環日本海経済交流促進協議会(北陸AJEC)  
理事・経済交流部長 杉山正樹氏

- 10月「ベトナム投資・貿易セミナー」(福井)
- 10月「ベトナム政府高官との経済交流会」(金沢)
- 11月「2016年 日中経済協力会議」(富山)
- 12月「韓国との共創セミナー」(金沢)
- 2017年 2月「米国ビジネスセミナー」(富山、金沢、福井)
- 5月「ベトナム経済交流会議」(金沢)
- 6月「グローバル市場開拓支援セミナー」(金沢)

さて前置きが長くなりましたが、今回のテーマは昨年8月に富山で開催された「北陸(日本)・韓国経済交流会議」です。

1999年3月、当時の小渕 恵三総理と金 大中大統領との間で21世紀に向けた日韓パートナーシップを更に確固たるものとしていくため、「日韓経済アジェンダ21」が合意されました。

この取組の一環として、2000年12月、東京において「第2回 日韓官民合同投資促進協議会」が深谷隆司通商産業大臣(当時)及び鄭 徳亀産業資源部長官の主宰の下で開催されました。

この協議会の成果として、「通商産業省(現:経済産業省)と韓国 産業資源部(現:産業通商資源部)との協調の下、北陸地方において『経済交流会議』を開催する」との合意がなされました。

中部経済産業局はこの合意を受け、日韓経済関係の一層の緊密化、及び北陸地域の産業の活性化等を図る観点から、北陸地域の関係機関(国及び自治体、経済団体等)に呼びかけ「北陸(日本)・韓国経済交流会議実行委員会」を設置し、「北陸(日本)・韓国経済交流会議」を毎年開催することになり第10回まで続きました。

第11回会議からは、北陸地域のニーズに根ざした新展開を図る観点から、北陸地域の産官学で構成する「北陸環日本海経済交流促進協議会(北陸AJEC)」が

富山県プラスチック工業会の皆さまは北陸環日本海経済交流促進協議会(北陸AJEC)という団体をご存知でしょうか。先ずはその説明から始めさせていただきます。

北陸AJECのパフレットでは次のように記述されています。

「北陸(富山県・石川県・福井県)は日本海沿岸の中央に位置するとともに、3大都市圏に近接している地域です。これらの経済圏との総合的ネットワークの構築を図ることにより、対岸諸国に向けた環日本海経済圏のゲートウェイとしての役割が期待されてきました。こうした背景のもと、1992年、冷戦終結を機に北陸の産・官・学が一体となり対岸諸国との経済交流を促進し、北陸経済の活性化を図ることを目標に当会は設立されました。その後、経済のグローバル化の急速な進展に伴い、北陸を取り巻く国際環境も大きく変化しました。環日本海時代の到来を期して設立された当会もこうした状況を踏まえ、設立20周年(2012年)を機に対象地域にASEANを加えることとし、北陸と東アジア全域との交流促進に資する活動を展開しています。」

事務所は金沢市内にあり、北陸三県の企業団体を中心に130名の会員で構成され、本協議会の代表は久和進会長(北陸電力株 会長)で顧問には中部経済産業局長、近畿経済産業局長、富山県知事、石川県知事、福井県知事、富山大学長、金沢大学長、福井大学長にご就任頂いております。一言で表現すると、北陸経済連合会の国際部門的な組織といえるでしょう。

具体的な経済交流活動をご紹介します。昨年から今年にかけて次のような地域との経済交流会議(主催、共催、後援を含む)を開催しました。

- 2016年 2月「タイとのお互いフォーラム会議」(福井)
- 8月「第17回 北陸(日本)・韓国経済交流会議」(富山)

### 三光合成株式会社 SANKO GOSEI LTD.

〒939-1698 富山県南砺市土生新1200  
1200 HABUSHIN NANTO-CITY TOYAMA 939-1698 JAPAN  
TEL 0763-52-1000 FAX 0763-52-1925  
http://www.sankogosei.co.jp/

### TAKAGISEIKO 株式会社 タカギセイコー

革新を続けるプラスチック創造企業  
代表取締役社長 八十島 清 吉

本社/富山県高岡市二塚322-3 ☎(0766)24-5522代

今年、応募64件から5件を選出させて頂き、助成金の授与式を高岡御車山会館で行います。



この高岡御車山を代表する様に、高岡市は、江戸時代より商工業都市として栄え、伝統工芸(金工、漆工、染織等)を支援する町人文化があり、現在もこの優れた伝統工芸の技が引き継がれています。

その心意気を受け継いで、何か財団をつかって社会の発展に貢献したいと考えていた矢先に、一昨年のプラスチック工業会理事会後に、富山県立大学との懇談会に出席させて頂きました。その時のお話から、ものづくりの基礎研究として、大学や研究機関の若手研究者(40歳以下)の支援をさせて頂くことを決め、金森財団を設立した次第です。

そして、出来れば5年、10年先には、その中から社会の発展に貢献できる技術が生まれてくることを期待しています。

#### 5. 今、取り組んでいる事業についてお聞かせください。

現在、力を入れている事業としては、ICT(情報通信技術)を活用したプラスチック原料の無料データベース「PlaBase」の運用です。これは、昨年開発し国からもものづくり補助金を頂いた事業です。

内容は、これまで原料の情報は、紙ベースの分厚いカタログなどから時間を掛けて探していましたが、物性のデータを入力するだけで要求にあった原料が表示されるなど、新規の開発や急な設計変更の材料選定などの業務改善に繋がるものです。

もう一つは試作品対応「PlaQuick」の事業です。3Dプリンターから射出成形まで、数個から10個~50個の試作品の作成や、実際に組み込まれる数百個単位の製品が作成出来る内容のものです。

#### 6. 国内、海外の取組みについてお聞かせください。

まず海外の取組みですが、香港、上海、ベトナム(ハノイ、ホーチミン)に2人から5人の駐在員がいます。拠点があると、これまで諦めていた国内のお客様の海外展開のお話など、当社でお手伝い出来ることのあるのではと臨機応変に対応ができるようになりました。

国内ですが、金森産業本社、東京支店、そして大阪、名古屋と北陸三県(富山、金沢、福井)に営業所があります。そして商社という立場から、これからはお客様のご相談に、いろいろとご提案をさせて頂きたいと思っています。

#### 7. 従業員の皆さんに望まれること、伝えたいことはなんですか。

最初から好きな仕事を見つけることは非常に難しい

です。まずは、自分の仕事に面白みを見出して、その仕事を好きになって頂きたいと思っています。

そして当社は、仕事を通じて関係先の方々と交流する機会が多くあり、いろいろと教えて戴くことがあります。是非、この学びのチャンスを活かして更に自分を磨いて頂きたいと思っています。

#### 8. ご趣味についてお聞かせください。

趣味ですが、以前はヨットでしたが10年前に引退し今はゴルフです。

ヨットについては、自分で高岡市のヨット協会を作って会長になったのですが、引退した今も会長のままです。昔は、妻と二人で車の上に小さなヨットを乗せて、国分の浜でよく走らせたものです。その後は9メートル級のヨットに乗っていましたが、10年前に手放して引退しました。

#### 9. 最後に

生産事業というのは、生産活動に適した地域や場所で行うことが一番だと思っています。富山県には、アルミ関係の生産事業や業関係の生産事業が多くあり、また周辺には関連業者も多く集積しています。その周辺に我々の様な業者が集まることで、更に良いものづくりが行えると思っています。

そこに我々の役割があり、これからは製造業のお客様を中心に、ものづくりのお手伝いとして様々な事業を行っていきます。

#### 《インタビュー後書き》

創業時の激動の時代、特に明治・大正・昭和初期、そして昭和30年~40年代の日本の高度成長期に、事業をうまく転換され、今日の金森産業さんを存続しておられる経営手腕に感銘し、我々会員企業に参考になる点も多くありました。

また、これからの時代を見据えて人材育成にご尽力しておられ、財団を設立されるなど視野の広さを感じました。今後のご繁栄を祈念いたします。



金森会長(左)とインタビュー(右)

#### 会社概要

株式会社金森産業  
昭和25年2月(創業 明治3年2月)  
代表取締役社長 金森 洋平  
資本金 4,738万5,000円  
事業内容 化学品専門商社  
■工業材料(染料・油脂、化学工業薬品、ファインケミカル、塗料、合成樹脂、鋳物資材、金属表面処理剤、包装資材、食品、セラミック、金属材料)  
■エンジニアリング(排水処理装置、公害防止装置、省力省エネ装置)  
■情報処理(モデリング事業、OA、FAソフト開発)  
■環境測定・分析(大気、水質、土壌、ダイオキシン、アスベスト、シックハウス、VOC、一般化学分析)

事務局となり実施することになりました。

第11回から今年開催の第17回までの会議の概要は次のようなものです。

開催場所	開催日時	会議テーマ
・第11回 富山	2010年 8月	新しいパートナーシップの構築に向けて
・第12回 慶州 <sup>ケイシュウ</sup>	2011年 9月	新たなパートナーシップの構築を目指して
・第13回 福井	2012年10月	〃
・第14回 大邱	2013年11月	超国境機械産業ネットワークの構築
・第15回 和倉	2014年 9月	地方経済活性化のための日韓協力
・第16回 蔚山 <sup>ウルサン</sup>	2015年 8月	新たな50年に向けた日韓共同繁栄の時代へ
・第17回 富山	2016年 8月	新たな50年に向けた日韓関係第一歩の構築

今年第18回 北陸(日本)・韓国経済交流会議が慶尚北道 安東市にて開催が予定されており、その内容は次のようなものである。

1. 日程：2017年8月28日(月)、29日(火)
2. 会議テーマ：「共同課題解決に向けた日韓地方間の協力」
3. 全体会議：8月28日(月) 9:30～12:00  
日本側 発表予定者  
・北陸経済連合会・北陸AJEC 久和会長(開催挨拶)  
・中部経済産業局 波多野局長(地域活性化に関する政府の施策)  
・中村留精密工業(株) 村本常務取締役(テグに進出してきて)  
・金沢工業大学 徳永進路開発センター所長(大学の進める地域活性化)
4. 3つの分科会：8月28日(月) 13:30～16:30  
1) 自治体分科会：北陸3県と韓国4地域の自治体が各地域の活性化施策などを発表。  
2) イノベーション分科会：それぞれの地域のイノ

- ベーションの実例を紹介
- 3) ビジネスマッチング：両国企業間のマッチングを実施
  5. 産業視察など：8月29日(火)  
1) 慶尚北道庁の視察(2016年に新庁舎が完成)  
2) 東レ先端素材(株)視察：亀尾市にある同工場(不織布工場)の視察  
3) ソウルにて北陸3県出身の駐在員の会(北陸圏人会)との情報交換会  
4) 8月27日(日)は安東市内の世界遺産「ハフエマウル」を視察観光

この報告書が冊子に掲載される頃に、この会議が安東市にて開催が終了していると思われます。2018年は福井県内での開催が予定されています。富山県プラスチック工業会の皆さまのご参加を歓迎いたします。



【第16回会議 蔚山 現代自動車産業視察】



【第16回会議 蔚山での全体会議】

**TOYOKAKO**  
優れた技術と確かな品質でお応えします。  
**東洋化工株式会社**  
取締役社長 中田 守人  
〒936-0857 滑川市下梅沢1350番地  
TEL(076)475-2125 FAX(076)475-9471

地球環境創造企業  
**TOYOX**<sup>®</sup>  
株式会社トヨックス 〒938-8585 富山県黒部市前沢4371  
TEL 0765-52-3131 FAX 0765-52-4245  
URL : http://www.toyox.co.jp

## 総務委員会レポート

### 労務研修会

#### ●平成28年度 第3回労務研修会

1月18日(水)に第3回労務研修会として「改正雇用保険法・育児介護休業法」を開催しました。多くは総務、人事の担当者の方々でした。

改正の殆どが、今年の1月施行であり、少子高齢化が進む中、労働者の離職の防止や高齢者、女性等の就業の促進と雇用の継続を重要視した内容のものでした。

講師 片境社会保険労務士事務所 所長 片境 貢氏  
演題 「改正雇用保険法・育児介護休業法」  
内容

1. 労働保険(労災保険・雇用保険)制度の歴史
2. 雇用保険法  
①育児・介護休業給付金の改正  
②高齢被保険者(65歳以上適用拡大)  
③その他 平成28年4月より雇用保険料の見直し  
平成29年4月も雇用保険料の見直し
3. 育児・介護休業法、雇用機会均等法  
①介護休業の分割取得  
②介護休暇・子の看護休暇半日単位で取得可能  
③介護のため所定労働時間短縮措置等の見直し  
④介護のための所定労働時間免除の新設  
⑤有期労働契約者の育児休業および介護休業の取得要件の緩和



- ⑥介護休業等の対象家族の範囲の拡大
- ⑦育児休業制度の対象となる子の範囲の拡大
- ⑧マタハラ・パワハラ防止措置の新設
- ⑨派遣先へのマタハラ・パワハラ防止措置、不利益取扱いの禁止規定の適用
- ⑩その他

#### ★受講感想 (株)トヨックス 高橋 奨

私は、自社の総務部に着任間もなく、初めて受講させて頂きました。時代の変化と共に雇用保険、育児・介護制度も変わっていくもの！と実感できました。今後の労務運用では、このような法改正が更に増えるのではと感じます。法改正に合わせ、一企業として、変化に応じた円滑な運用が大切！と理解できました。学んだことを活かしてルールに則り、かつ公正で社員さんから喜ばれる運用を目指したいと思います。

#### ●平成29年度 第1回労務研修会

6月7日(水)、平成29年度の第1回労務研修会を開催いたしました。

平成25年4月1日に施行された「改正労働契約法」により、有期雇用契約が通算5年を超えた場合、労働者(パート、契約社員、嘱託社員等)の申し出があれば無期雇用に転換させられることから、雇用管理の見直し等が必要であることなど、今回の改正内容のポイントや定年後再雇用者の取扱い(無期雇用にならない方法)など、事例を交えて大変解りやすく説明して頂きました。

講師 片境社会保険労務士事務所 所長 片境 貢氏 部長 片境 一暁氏  
演題 「契約社員の有期雇用から無期雇用の留意点他」  
内容

1. 無期転換権について  
有期雇用5年超更新(平成30年4月1日～)
2. 第二種計画認定・変更申請書

- 定年再雇用者が契約更新5年超により無期限雇用にならないよう計画を申請します
3. 高齢労働者向けの助成金（高齢・障害・求職者雇用支援機構の助成金）
    - ・65歳超雇用推進助成金（3コースあります）
    - ・65歳超継続雇用促進コース・・・定年引上げ等
    - ・高齢者雇用環境整備支援コース・・・高齢者用の機械設備の導入
    - ・高齢者無期雇用転換コース・50歳以上～定年未満労働者を有期から無期へ転換
  4. 定年・退職・解雇の違いについて
  5. パート労働法
  6. 法的効力優先順位
  7. 関連法律
    - 憲法・民法・労働基準法・労働契約法等



★受講感想 ミユキ化成(株) 中川 富美雄

「契約社員の有期雇用から無期雇用の留意点他」と題し、片境社会保険労務士より研修を頂きました。これは、2013年の労働契約法の全面改正に伴い、有期労働契約が5年を超え反復更新を行った場合、無期労働契約へ転換されるルールとなり、その対応について説明を頂きました。実務内容と関係する助成金他、法的な語源の解釈についても聴講する事ができました。今回の受講を踏まえ、今後の労務対策の一助として、参考にしていきたいと思いました。

## 経営セミナー

平成29年7月13日(木)に呉羽ハイツにて44名の参加者を得て平成29年度の「経営セミナー」を開催致しました。

第1部では(株)トヨックスの森岡顧問に、第2部では(株)タカギセイコーの八十島社長に講演をして頂きました。

【第1部講演】14:30～15:20

演題 「正しい理念の共育・共感・共有で真の一流企業に！」

講師 株式会社トヨックス 製造本部 生産技術部 顧問 森岡 政幸氏

【第2部講演】15:30～16:20

演題 「当社の構造改革について」

講師 株式会社タカギセイコー 代表取締役社長 八十島 清吉氏



森岡講師



八十島講師

## 技術委員会レポート

### 先進企業視察研修会

視察先：(1)株松浦機械製作所 (2)株シャルマン

平成29年6月15日(木)福井県の2社の企業視察を実施しました。

2社とも、「モノづくり」へのこだわりを明確にした卓越した技術にて、他社との差別化を図っていることを伺うことが出来ました。

参加者からは、今後の各企業の発展に活かしたいと、いろいろの面から多くの質問があり、非常に有意義な研修となりました。

★視察感想

◇「株松浦機械製作所を視察して」タカラ産業(株) 川筋 学

この度、先進企業視察研修会に参加し、(株)松浦機械製作所様を視察研修させて頂きました。

独創性、高品質をモノづくりテーマとして掲げ、社員一人ひとりが主役であり、社員全員が一つのチームとして取り組む結束力の強い会社であるとお聞きしました。まず驚いたのが、日本で初めてハイブリッド金属3Dプリンターを開発・販売したところです。この独創的な機械を考案・具現化出来たのは、社員全員が一つのチームとして取り組み事を成し遂げたという事は想像に難くありません。

また、実際の生産工場を見学させて頂きました。

72時間無人稼働のコンセプトでMCを生産・販売しているという事で、工作機械メーカーとしても72時間無人稼働を実践しています。とおっしゃっていました。

生産工場ではパレットチェンジャーやロボットを活用し、日中は段取りのみに作業時間を費やし、夜間及び休日に工作機械の無人稼働を実施しておられました。

今回の視察研修で見た事、感じた事を自社に持ち帰り各部署へ発信し、今後の業務に生かしたいと思えます。



株松浦機械製作所

★視察感想

◇「株シャルマンを視察して」多田薬品工業(株) 板谷 修治

今回、先進企業視察研修会にて(株)シャルマン様をご訪問させて頂きました。

福井県の産業でもあるメガネフレームの企画・製造・販売を手掛けられており、世界中に愛用者がいる通り、高機能（軽い、掛けやすい）・高品質（チタン製）でデザイン的にも非常におしゃれなフレームデザインだと感銘を受けました。

近年ではメガネフレームでの技術力を生かし医療分野にも参入されており、チタン製の手術用器具は錆びない・軽量・非磁性・高生体適合性など医療現場でも大変重宝されているアイテムだと実感致しました。

シャルマン様で製造されている『メガネ』、私も一度愛用したいと思いました。

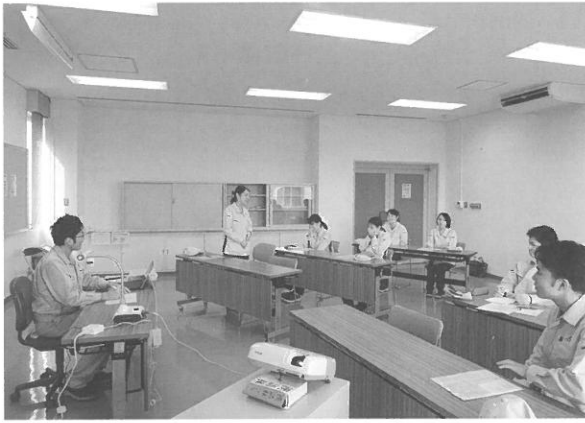


株シャルマン

## 研修講習事業報告

### 前期レベルアップ研修会

と き：平成29年4月10日(月)～27日(木)  
 ところ：ポリテクセンター富山  
 参加者：33名



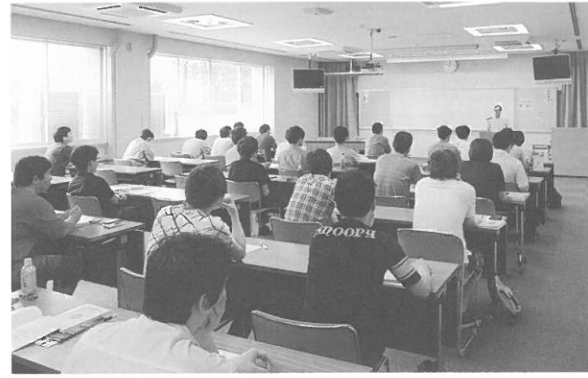
### 射出成形実技講習

と き：平成29年5月11日(水)～6月30日(金)  
 ところ：ポリテクセンター富山  
 講師：渋谷 巽氏  
 参加者：1級35名 2級56名



### 射出成形学科講習

と き：平成29年7月22日(土)  
 ところ：ポリテクセンター富山  
 講師：渋谷 巽氏  
 参加者：1級14名 2級44名



### 労務研修会

- 平成28年度 第3回
  - と き：平成29年1月18日(水)
  - ところ：富山技術交流センター2階研修室
  - 演 題：「改正 雇用保険法・育児介護休業法」
  - 講 師：片境社会保険労務士事務所  
 所長 片境 貢氏
- 平成29年度 第1回
  - と き：平成29年6月7日(水)
  - ところ：富山技術交流センター2階研修室
  - 演 題：「契約社員の有期雇用から  
 無期雇用の留意点他」
  - 講 師：片境社会保険労務士事務所  
 所長 片境 貢氏  
 部長 片境 一暁氏



阪神化成工業株式会社

〒939-8183 富山市小中163番地  
 TEL(076)429-1865代  
 FAX(076)429-6042  
 URL http://www.hansin.co.jp/

## 会員広場

### 優良従業員表彰

平成29年6月1日(木)に富山第一ホテルにて表彰式があり、15社から20名の方が優良従業員表彰を受章されました。誠にありがとうございました。

表彰式では高田会長より永年に渡る貢献への労いと、今後も健康に留意し一層のご活躍を期待する挨拶と、来賓を代表して(公財)富山県新世紀産業機構 海野 進専務理事よりお祝いのお言葉があった後、阪神化成工業(株)の荒井孝昌さん他19名が受章されました。



氏名	企業名
荒井 孝昌	阪神化成工業(株)
大久保由紀子	(株)コージン
金子 篤	三光合成(株)
白川 明美	(株)リッチェル
田島 良三	阪神化成工業(株)
谷 幸大	ファインプラス(株)
谷川奈津子	テクノプラス(株)
出村 学	(株)碓井製作所
鳥本 憲市	ミュキ化成(株)
永井 繁嗣	(株)リッチェル
中野 優子	(株)トヨックス
中村 利浩	三協化成(株)
西野 一成	JFEマテリアル(株)
平井慎太郎	ミュキ化成(株)
船木 貴史	(株)タカギセイコー
水井 猛	小林製薬ブラックス(株)
宮下 哲也	高岡明光化成(株)
森川由加里	三光合成(株)
山崎 正幸	(株)大樹
米田 公孝	(株)トヨックス

### 懇親ボウリング大会

平成29年7月8日(土)に懇親ボウリング大会を開催いたしました。会場は、クアトロブーム小杉、今回は、参加しやすい様にと1チーム4人(昨年まで5人)での開催であり11社17チーム68名の男女が参加しました。

総務委員で厚生事業担当 浅谷さんから、大会運営のルール説明があり、試合開始の合図と同時に、各レーンから第一投がストライクめがけて投げられました。ストライクにハイタッチと、皆さん元気にプレーされ2ゲームで成績を競いました。

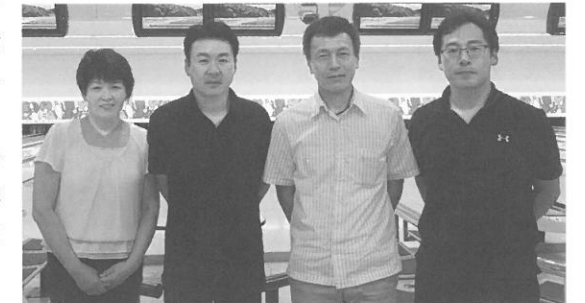
団体優勝は(株)リッチェル チーム「リッチェルB」、個人優勝は「(株)リッチェルの塩原 毅さん」の頭上に輝きました。団体戦では9賞、個人戦では23賞の表彰となり無事大会を終了いたしました。

#### ■団体の部(1チーム4名 計8ゲーム)

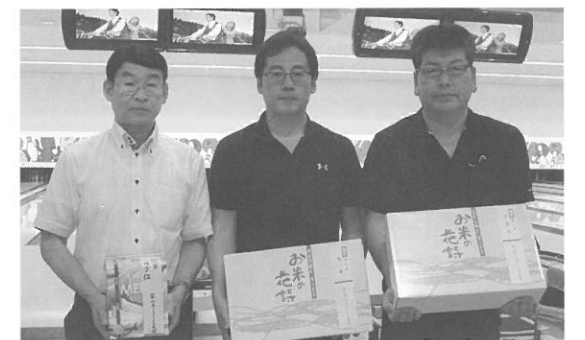
	チーム名	企業名
優勝	リッチェルB	(株)リッチェル
準優勝	リッチェルA	(株)リッチェル
3位	TEAM ARAI	(株)タカギセイコー
4位	氷見	(株)タカギセイコー
5位	技術部門	三光合成(株)

#### ■個人の部(2ゲーム)

	氏名	企業名
優勝	塩原 毅	(株)リッチェル
準優勝	高田 正彦	(株)タカギセイコー
3位	陸田 直之	(株)タカギセイコー
4位	城木 正博	(株)リッチェル
5位	兵田 真信	(株)タカギセイコー



団体の部優勝  
 (株)リッチェル リッチェルBチーム



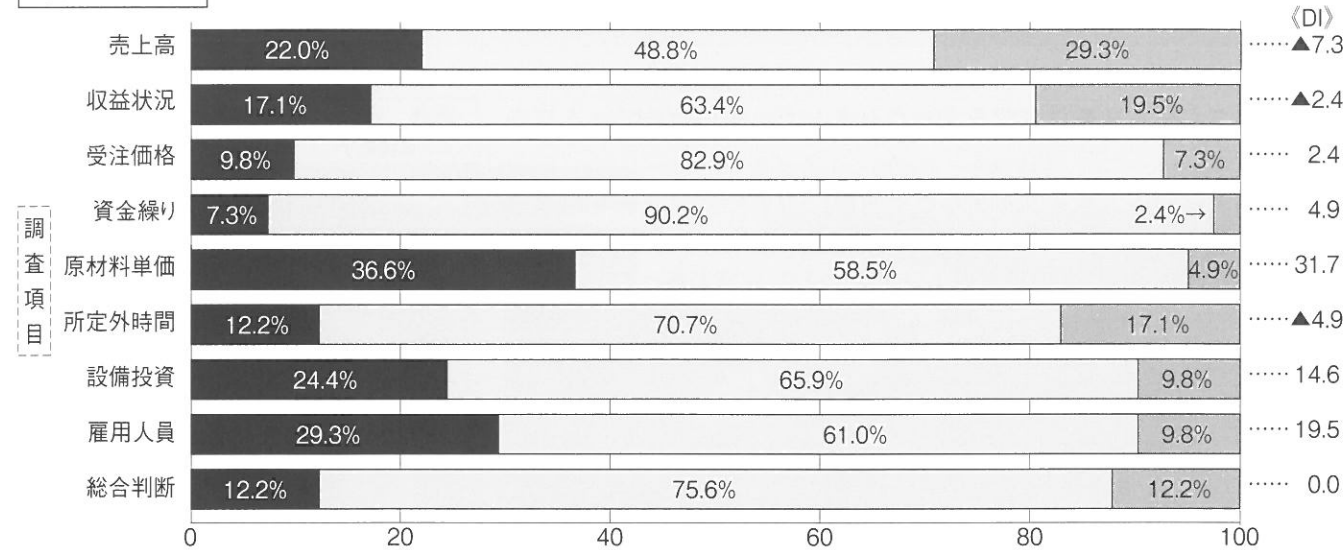
個人の部優勝  
 (株)リッチェル 塩原 毅さん  
 個人の部第3位 個人の部準優勝  
 (株)タカギセイコー 陸田 直之さん (株)タカギセイコー 高田 正彦さん

# 会員企業による景況調査

## 最近の実績

平成29年4月～29年6月/前年同期比

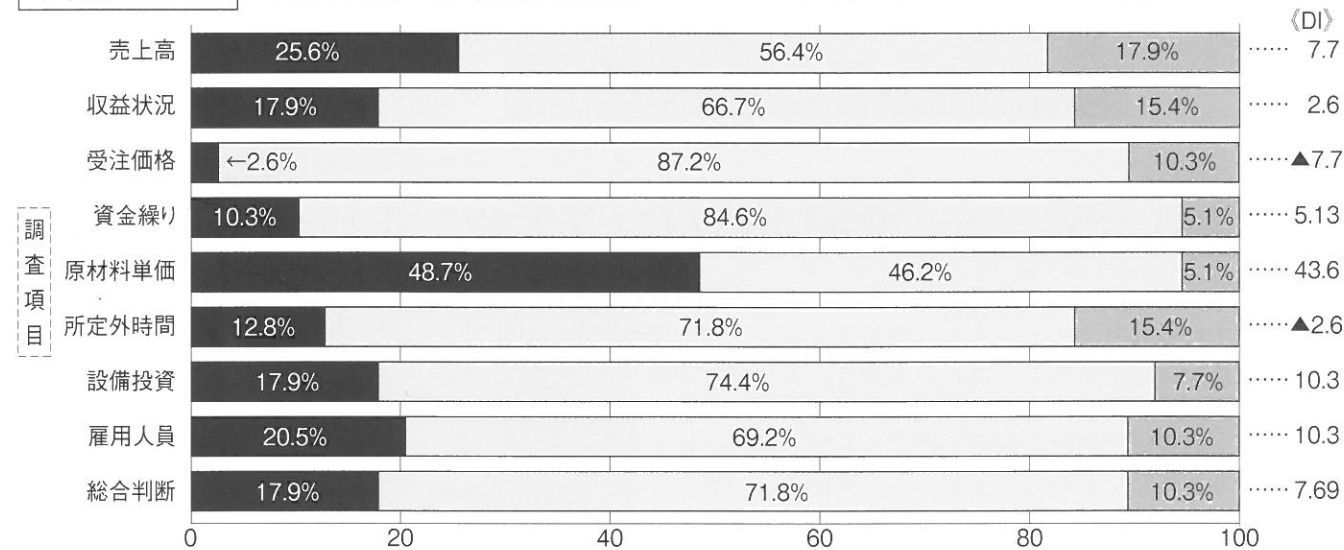
■ 増加・好転・上昇 □ 変わらず ▨ 減少・悪化・低下



## 今後の見込み

平成29年7月～29年9月/前年同期比

■ 増加・好転・上昇 □ 変わらず ▨ 減少・悪化・低下



### [1] 雇用について

①平成29年度4月  
新規学卒者入社実績  
ある 48.8%  
ない 51.2%

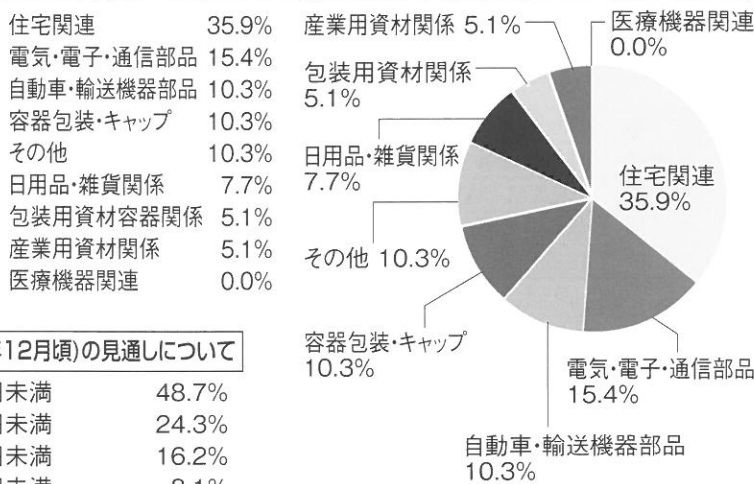
②平成29年4月～9月の  
中途採用実績・予定  
ある 67.5%  
ない 20.0%  
未定 12.5%

③平成30年4月の  
新規学卒者の採用予定  
ある 60.0%  
ない 27.5%  
未定 12.5%

### [2] 問[1]①にあるに該当するそれぞれの割合は?

高等学校	34.7%
大学	32.7%
短大	12.2%
高等専門学校	10.2%
その他	6.1%
大学院	4.1%

### [3] 売上(取扱い)商品の中で最もウエイトが高いのは?(39社回答)



### [4] 円ドル相場の半年後(H29年12月頃)の見通しについて

1ドル=110円以上115円未満	48.7%
1ドル=105円以上110円未満	24.3%
1ドル=115円以上120円未満	16.2%
1ドル=100円以上105円未満	8.1%
1ドル= 95円以上100円未満	2.7%

### [5] 直面している経営上の問題点について

従業員の確保難	19.5%
生産設備の不足・老朽化	13.6%
技術伝承者の確保難	12.7%
原材料価格の上昇	11.0%
生産性の改善遅れ	8.5%
需要の停滞	8.5%
製品ニーズの変化への対応	5.1%
製品単価の低下・上昇難	5.1%
原材料費、人件費以外の経費の増大	4.2%
新入社員の教育不足	3.4%
その他	3.4%
人件費の増大	2.5%
取引条件の悪化	1.7%
生産設備の過剰	0.8%

### [6] 現在の国内景気をどのように認識されてますか?

横ばいとなっている	46.3%
緩やかながら拡大している	31.7%
緩やかながら悪化している	17.1%
順調に拡大している	2.4%
悪化している	2.4%

### [7] 問[6]のそれぞれの要因について

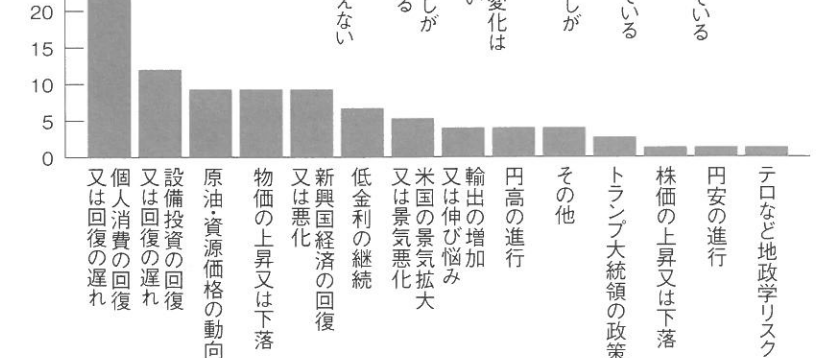
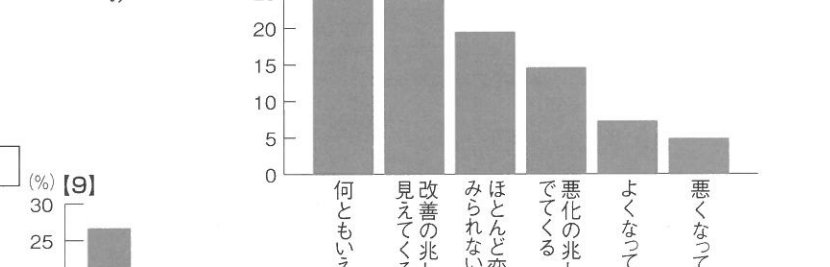
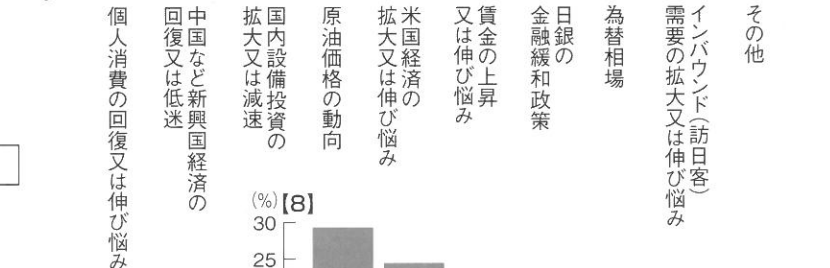
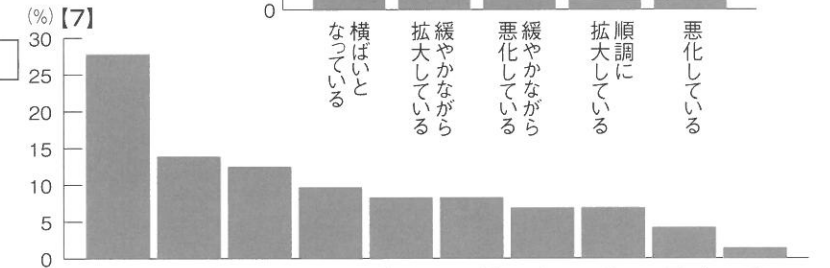
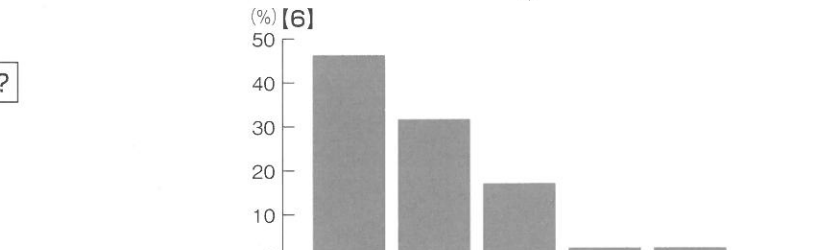
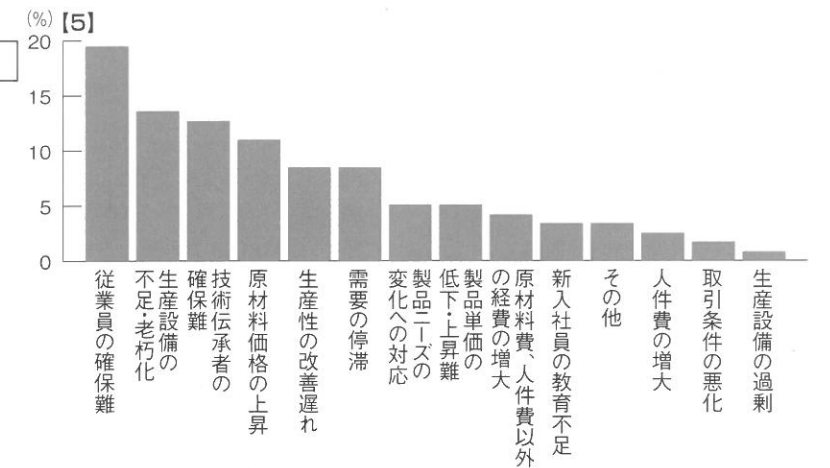
個人消費の回復又は伸び悩み	27.8%
中国など新興国経済の回復又は低迷	13.9%
国内設備投資の拡大又は減速	12.5%
原油価格の動向	9.7%
米国経済の拡大又は伸び悩み	8.3%
賃金の上昇又は伸び悩み	8.3%
日銀の金融緩和と政策	6.9%
為替相場	6.9%
インバウンド(訪日客)需要の拡大又は伸び悩み	4.2%
その他	1.4%

### [8] 今後の国内景気について(H29年9月頃)

何ともいえない	29.3%
改善の兆しが見えてくる	24.4%
ほとんど変化はみられない	19.5%
悪化の兆しが見えてくる	14.6%
よくなっている	7.3%
悪くなっている	4.9%

### [9] 問[8]のそれぞれの要因について

個人消費の回復又は回復の遅れ	26.7%
設備投資の回復又は回復の遅れ	12.0%
原油・資源価格の動向	9.3%
物価の上昇又は下落	9.3%
新興国経済の回復又は悪化	9.3%
低金利の継続	6.7%
米国の景気拡大又は景気悪化	5.3%
輸出の増加又は伸び悩み	4.0%
円高の進行	4.0%
その他	4.0%
トランプ大統領の政策	2.7%
株価の上昇又は下落	1.3%
円安の進行	1.3%
テロなど地政学リスク	1.3%





# プラスチック関連データ

## 加工機械生産実績

金額：百万円

	合計		射出成形機										押出成形機				ブロー成形機	
			計		型締力100t未満		型締力100t以上200t未満		型締力200t以上500t未満		型締力500t以上		本体		付属装置		本体	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額
H24	13,523	183,827	11,519	133,827	4,109	26,256	4,433	39,934	2,333	33,546	644	34,091	425	25,505	983	10,963	596	13,532
H25	12,667	176,000	10,765	129,486	3,499	21,742	4,103	37,971	2,514	36,674	649	33,099	449	18,927	806	9,320	647	18,267
H26	13,708	193,780	11,739	143,209	3,593	23,910	4,844	45,297	2,568	38,322	734	35,680	484	22,339	865	10,394	620	17,838
H27	14,434	206,261	12,471	156,333	3,777	25,016	4,871	45,397	3,058	46,587	765	39,333	453	20,187	966	11,797	544	17,944
H28	13,650	196,557	11,702	141,377	3,697	23,898	4,418	39,287	2,841	41,733	746	36,459	411	23,606	887	10,658	650	20,916
H28.11月	1,064	14,354	922	10,847	303	2,038	342	3,141	217	3,021	60	2,647	27	1,244	71	975	44	1,288
前年同月比%	96.3	98.9	97.5	87.7	98.1	101.3	102.1	94.1	88.6	83.0	105.3	78.5	100.0	215.2	72.4	141.3	129.4	145.5
H28.12月	1,177	17,330	1,004	12,838	356	2,378	361	3,283	219	3,359	68	3,818	43	1,686	70	1,170	60	1,288
前年同月比%	103.1	98.1	105.8	99.1	164.8	153.7	97.3	93.9	76.3	78.2	90.7	105.5	102.4	130.8	68.6	73.6	122.4	70.6
H29.1月	1,046	13,314	945	10,077	358	2,134	337	2,913	192	2,780	58	2,250	29	1,603	32	508	40	1,126
前年同月比%	106.4	91.1	108.9	99.5	135.6	121.3	100.9	96.9	85.0	79.5	131.8	120.4	103.6	54.5	65.3	135.8	105.3	96.2
H29.2月	1,352	18,382	1,160	12,670	416	2,623	420	3,589	252	3,584	72	2,874	33	539	101	3,503	58	1,670
前年同月比%	107.6	94.4	106.6	90.4	124.6	122.0	103.2	89.1	88.4	86.0	116.1	78.3	100.0	18.4	148.5	656.0	86.6	83.2
H29.3月	1,526	21,388	1,349	15,457	490	3,017	479	4,165	297	4,465	83	3,810	39	2,548	74	1,462	64	1,921
前年同月比%	101.5	84.3	109.1	105.7	126.9	118.2	98.6	93.3	99.7	100.5	123.9	120.1	54.2	49.8	59.2	50.6	91.4	70.3
H29.4月	1,244	15,030	1,115	13,135	337	2,064	473	4,417	231	3,209	74	3,445	19	244	60	293	50	1,358
前年同月比%	106.1	109.6	108.6	121.1	107.7	121.7	114.8	134.7	93.5	95.5	134.5	137.0	90.5	22.7	77.9	86.2	106.4	93.9
H29.5月	1,184	17,022	1,025	11,660	336	2,143	423	3,865	201	2,836	65	2,816	43	2,657	64	1,120	52	1,585
前年同月比%	121.3	130.1	120.2	116.0	117.5	122.0	139.1	146.8	97.6	89.9	114.0	112.5	215.0	615.0	104.9	115.5	123.8	97.2

## 原料生産実績

単位：トン

	計	フェノール樹脂	ポリエチレン	ポリスチレン	ポリプロピレン	メタクリル樹脂	塩化ビニル樹脂	ポリカーボネート	ポリアセタール	PET樹脂	PBT樹脂	その他樹脂
H24	10,539,548	274,564	2,604,904	1,167,702	2,390,256	172,554	1,330,785	316,797	123,954	472,061	182,168	1,503,803
H25	10,579,334	287,515	2,630,960	1,189,070	2,248,199	162,512	1,486,633	309,208	122,958	526,163	159,942	1,456,174
H26	10,570,102	284,080	2,639,042	1,162,553	2,348,567	150,293	1,476,748	303,813	115,658	463,366	174,126	1,451,856
H27	10,798,776	278,253	2,609,408	1,210,479	2,500,500	152,997	1,646,112	294,449	100,108	431,088	188,565	1,386,817
H28	10,715,345	288,578	2,568,979	1,183,264	2,466,311	144,949	1,650,883	292,520	104,181	418,370	171,368	1,425,942
H28.11月	955,520	25,905	240,196	105,606	228,421	11,467	134,171	25,571	1,248	36,184	7,612	139,139
前年同月比%	101.7	107.6	97.4	100.8	104.3	90.3	99.0	106.1	28.6	112.6	48.8	115.4
H28.12月	978,194	24,179	233,138	103,012	225,272	13,586	152,913	25,804	7,326	38,450	10,358	144,156
前年同月比%	101.3	105.8	91.9	92.5	102.1	110.6	109.6	102.9	88.0	105.9	58.9	122.6
H29.1月	985,346	22,543	251,688	107,209	227,384	14,400	153,313	27,316	10,709	39,760	9,661	121,363
前年同月比%	102.8	98.7	102.6	103.1	101.9	114.7	106.1	121.8	99.4	114.3	57.4	99.7
H29.2月	916,302	24,568	219,822	102,539	211,951	12,335	142,525	28,574	9,186	29,292	8,981	126,529
前年同月比%	101.0	103.2	101.7	99.8	99.9	96.0	97.7	114.2	107.9	102.9	60.6	108.4
H29.3月	977,527	26,537	232,548	91,633	225,439	13,998	131,851	28,508	7,109	29,450	9,501	180,953
前年同月比%	115.6	106.8	118.9	112.1	107.3	112.8	104.5	99.2	97.6	93.8	82.4	156.3
H29.4月	901,629	23,734	232,070	94,717	215,995	11,635	125,866	22,745	10,974	38,512	9,917	115,464
前年同月比%	104.4	102.4	113.8	102.5	99.2	114.0	103.5	102.7	116.8	101.6	58.6	107.0
H29.5月	847,919	23,051	211,296	104,889	209,756	15,054	131,090	23,507	10,772	0	10,365	108,139
前年同月比%	97.7	106.5	98.1	108.8	111.1	120.0	96.2	89.6	100.0	0.0	59.4	104.2

# プラスチック関連データ

## 製品生産実績

単位：トン

	計	機械部品①～③							日用品・雑貨	容器		建材	発泡製品	強化製品	その他			
		フィルム	シート	板	合成皮革	パイプ	継手	計		①輸送機械部品	②電気通信部品					③その他部品	中空成形容器	その他の容器
H24	5,858,551	2,165,469	236,637	127,631	51,154	434,609	57,616	685,013	484,324	147,689	53,000	303,050	551,614	316,352	288,173	294,402	66,515	280,316
H25	5,975,043	2,282,078	242,043	124,575	50,146	480,706	60,783	678,648	485,251	140,425	52,972	297,110	541,007	262,131	305,268	276,250	73,771	300,527
H26	5,708,219	2,197,776	237,113	107,571	53,058	432,057	56,839	644,768	476,051	118,570	50,147	291,262	508,908	273,139	312,066	250,646	70,481	272,535
H27	5,618,053	2,207,678	230,847	111,702	54,062	397,497	43,360	629,166	462,999	114,783	51,384	289,613	499,451	270,801	296,556	248,548	73,915	264,857
H28	5,659,988	2,237,187	219,915	113,163	56,952	387,232	44,136	645,925	483,702	112,949	49,274	298,382	485,244	298,216	293,869	251,038	73,983	254,746
H28.11月	499,674	196,300	18,917	9,734	5,241	37,285	3,732	57,048	42,625	9,947	4,476	25,462	39,390	29,392	25,339	22,660	6,827	22,347
前年同月比%	100.2	98.7	93.9	102.2	107.0	99.2	91.4	102.6	102.7	101.6	104.6	98.9	100.7	122.1	93.2	99.7	112.3	97.0
H28.12月	467,330	181,063	18,055	9,159	5,052	34,948	3,661	54,680	40,883	9,441	4,356	25,149	35,034	27,387	23,806	21,964	6,161	21,211
前年同月比%	101.7	101.1	96.1	99.5	112.0	98.4	100.7	101.1	100.3	101.1	108.9	103.1	102.0	122.6	96.4	102.5	104.5	99.0
H29.1月	442,909	175,721	17,233	9,206	4,177	32,369	3,627	52,124	38,798	9,114	4,212	24,453	32,927	24,223	21,573	19,308	5,827	20,141
前年同月比%	103.9	103.3	101.1	110.9	92.5	105.0	104.3	101.2	100.2	102.1	110.1	108.5	100.7	132.2	95.4	102.9	102.3	101.5
H29.2月	461,006	178,832	18,559	9,304	4,894	31,718	3,786	56,159	42,244	9,606	4,309	24,422	36,944	24,846	23,823	19,973	6,080	21,666
前年同月比%	100.9	100.3	101.3	105.8	104.1	94.1	96.4	107.4	109.1	102.4	103.5	99.6	95.2	114.1	94.4	103.7	97.0	102.0
H29.3月	499,115	193,672	19,907	10,179	4,812	31,097	3,742	60,269	45,364	10,251	4,654	26,973	43,638	28,696	25,445	20,528	6,640	23,517
前年同月比%	109.2	108.7	108.6	115.7	102.3	92.3	95.3	115.3	117.1	109.3	111.8	110.0	112.4	131.8	100.9	106.6	105.9	110.7
H29.4月	487,096	192,582	18,893	9,864	4,587	29,446	3,529	56,360	42,096	9,895	4,369	27,440	44,277	27,729	23,884	20,509	6,133	21,863
前年同月比%	104.0	102.0	99.4	104.7	97.6	121.9	96.3	109.6	111.9	101.7	106.9	102.5	101.2	114.0	98.4	99.5	108.3	100.7
H29.5月	466,114	186,024	17,221	9,120	4,152	29,378	3,190	50,170	36,923	9,288	3,959	25,822	44,905	25,623	22,254	20,309	6,168	21,778
前年同月比%	103.8	101.8	99.1	98.6	101.0	109.1	102.4	106.0	105.8	106.0	108.6	106.8	104.0	115.8	98.9	100.6	109.9	106.2

(経済産業省データ加工)

## 【新会員の紹介】

### 《賛助会員》

#### 株式会社やぶうち商会

所在地 富山市水橋金尾新140-13

代表者 代表取締役 飯倉 清博

設立 1972年(昭和47年)

資本金 2,000万円

従業員 26名

事業内容 塗料販売事業、塗料調合事業  
塗料プラント企画管理事業  
マーケティングフィルム事業  
化粧品販売事業

## 【会員の動き】(50音順)(敬称略)

### ■代表者の変更

#### 三協化成株式会社

代表取締役社長 芝田 亮(前：橋本 浩一)

#### 日鋼YPK商事株式会社

代表取締役社長 清水 信明(前：金子 信夫)

#### 丸喜産業株式会社